

# 令和5年度 自己評価公表シート

令和6年3月31日  
遊学舎 芳華こども園

## 1. 本園の教育及び保育の目標

- 1. 子どもが現在を最もよく生き望ましい未来をつくり出す力の基礎を養う。
- 2. 養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成する。

## 2. 本園の教育方針

- ・大自然の中で遊びに学び様々な体験を通し、生きる力を育てます。
- ・地域や保護者様との信頼関係を築き、喜びを感じながら子育てを共に行います。
- ・研修や自己研鑽に励み常に自らの専門性を高め、法人職員としての責務を果たします。

## 3. 本年度、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 教育・保育の全体的計画、指導...個人の発達や家庭での現状に応じた教育保育を行う。チーム保育による保育教諭の連携。異年齢保育の取り組み。
- 保健管理...園児の健康診断の実施（年2回）、日々の健康観察。
- 資質向上の取組...園内外での研修。共通認識。職員間の保育についてのグループワーク。園内外の公開保育。
- 子育て支援...地域の子育て支援“ひだまりキッズランド”の実施（うららの森にて）在園児の保護者支援（園の様子の配信）
- 幼保小連携...園児と児童の交流／円滑な連携・接続
- 教育環境...施設設備・遊具や教具の安全点検・環境整備
- 食育の推進...食を営む力を育てる

## 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育・保育の全体的計画、指導	A	子ども達が興味関心のある環境を設定し、主体的に子ども達が環境に関われるように、また、個人の発達に合わせた援助配慮を行なっている。
保健管理	A	学校環境衛生基準定期検査の実施。園医検診、歯科検診、尿検査を年2回実施する。園児の受け入れ時、日中の健康観察を行い、保護者と連携をとる。
資質向上の取組	B	園外の研修内容を会議で報告し、周知する。年に一回公開保育を行い、幼保連携型認定こども園の園長・保育教諭に来園してもらい、資質向上に努めた。また、ポスターセッションでは新しい学びを深めた。

子育て支援	B	未就園児対象のひだまりキッズランドでは、ママ友ができ、悩みを共有し、子育てする保護者にとっての憩いの場となっている。園の様子をドキュメンテーション・動画配信することで、子どもの育ちの理解につながっている。
幼保小連携	A	年長児の進学先の小学校を調べたり、見学に行き、また学校から園の子どもの姿を先生に見てもらい、スムーズな幼保小連携を図る。
教育環境	A	施設設備、遊具点検を月に一回行い、安全に遊べる環境づくりに取り組んでいる。
食育の推進	A	自分たちで育てた野菜を調理することで、興味が深まり、食べることへの意欲につながる。食育フィールドワークでは、素材から食べるまでの過程を親子で体験することで、子どもたちの食への営む力をはぐくむ。

#### 5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	“遊びに学ぶ”の理念のもと、様々な体験活動を通して、生きる力の基礎を培ってきた。今後も、子どもたちの発信する興味や関心を広げることができるようにアンテナをはり、環境を考えていきたい。また、子どもたち、保護者様、保育者一人一人を大切にできる園であるように、寄り添い、受け止めることを大事にしていきたい。

#### 6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
資質向上の取り組み	保育者の現在の課題と感じていることを共有し、対話を通して、解決していく。また、園内公開保育を行い、幼保連携型認定こども園教育保育要領にのっとり、子どもの育ちを共有していく。
子育て支援	子どもたちが夢中になって遊んでいる（学んでいる）姿をドキュメンテーションや動画配信でお知らせし、子どもの育ちを伝えていく。また、親子で参加できるイベントを実施し、子育ての楽しさを味わっていただく。

#### ◎「4、5」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	とりくまれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である